にいがた労福協

ライフサポートセンター

No.44　2021年１月15日発行
一般社団法人 新潟県労働者福祉協議会
〒950-0965 新潟市中央区新光町６番地２
Tel 025-281-0890　Fax 025-281-0891
E-mail ni-rfk@bz04.plala.or.jp
URL　http://www.niigataken-rofukukyo.com/
発行責任者　間　英輔

2021年 明けましておめでとうございます

～すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、
連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります～

2021年、今年もよろしくお願いします。

理事長	牧野　茂夫	連合新潟
副理事長	齋藤　敏明	労働金庫
副理事長	小野塚　豊	こくみん共済
専務理事	間　英輔	労福協
理事	齋藤　悦男	自治労
理事	砂長　勉	UAゼンセン
理事	山崎　雅彦	電機連合
理事	小熊　勇	交通労連
理事	小林　礼子	日教組
理事	小林　俊夫	連合新潟
理事	大津　岳	労働金庫
理事	佐藤　浩	こくみん共済
理事	中村　綾男	労信協
理事	早川　武男	退職者連合
理事	中川　亨	ろうきん財団
理事	菅井　秋彦	新潟地区
理事	矢島　良彦	長岡地区
理事	羽深　浩一	上越地区
監事	筒井　泰樹	連合新潟
監事	大岩　敏和	労働金庫
監事	玉木　豊	こくみん共済
事務局長	東條　雅夫	労働金庫
事務局長	佐藤　淳	労福協
職員	渡辺　薫	労福協

「連帯・協同でつくる、安心・共生の福祉社会」に向けて

新潟県労福協
理事長　牧野　茂夫

あけましておめでとうございます。

国連の「持続可能な開発目標」（ＳＤＧｓ）のもと、２０３０年までに貧困に終止符を打ち「誰ひとり取り残さない」包摂的で持続可能な社会を実現するために、様々な取り組みが動き出しています。これらは、私たちがめざしてきたものと軌を一にするものであり、こうした方向性に沿って労福協のビジョンもより深化させていくことが必要です。新潟県労福協は、14会員団体、県内10カ所の地区労福協とともに、さまざまな団体とのネットワークを強化しつつ生活上の悩みや課題を抱えた人たちに対する支援事業を一体となってすすめています。

私たちを取り巻く環境は、新型ウイルス肺炎感染症が全世界に蔓延し、私たちの日常に大きな影を落としています。現在、「新しい生活様式」のもと、少しずつ社会経済活動が回復しつつありますが、経済・社会・国民生活は計り知れない影響を受け、多くの方々が仕事や住まいを失い、雇用不安を含め様々な困難を抱える状況になっています。また、従来の社会構造が大きく様変わりする中にあって格差と貧困の拡大に歯止めがかかりません。

県内で働き、暮らす多くの人の支えとなる労福協運動。２０２１年は、これらの環境変化の中で、新しい日常生活を模索しながら、新たな運動・活動を創造していくことが求められています。活動の原点はウイルス禍にあっても変わりませんが、従来の活動が実施できない状況下では、新しい手法で労福協運動を周知していく取り組みが必要になります。

「連帯・協同でつくる、安心・共生の福祉社会」の実現に向け、皆さんと力を合わせ、取り組みをすすめて参りますので、どうぞよろしくお願いします。

２０２１年　年頭挨拶

労働者福祉中央協議会
会　長　神津　里季生

新年明けましておめでとうございます。

中央労福協は昨年、コロナ禍で活動が制限される中、三次にわたる緊急要請、生活・就労応援基金（ろうふくエール基金）の設置、コロナ禍・大規模災害に強い地域づくりをテーマとした動画配信など、「労福協の２０３０年ビジョン」に改めて確信を持ちながら、歩みを進めてまいりました。

貧困や社会的排除がなく、人と人とのつながりが大切にされ、平和で、安心して働き暮らせる持続可能な社会を実現するために、今こそ私たちが真価を発揮する時です。労働運動と労働者福祉事業が関係を強化し、消費者運動、ＮＰＯ・市民運動などとの連携を深め、共助の輪を広げることにより、多様で重層的なセーフティネットを日本社会に張り巡らし、貧困や格差を是正していきましょう。

中央労福協は、ポストコロナ時代のスタートの年に、「つながり、寄りそい、支え合う」ことを基軸に、誰もが「助けて」と言える社会を目指します。そのために新しい手法を柔軟に取り入れ、「今こそ労働者福祉運動の出番」との気概をもって取り組んでいきます。

労働金庫から生活資金や住宅資金を
借り入れる際の保証人となる

勤労者のための信用保証機関です。

【保証引受の実績】
（2020年11月末現在）

保証引受の内容	保証引受残高
無担保ローン	39,134件　56,649,448,687円
有担保ローン	9,853件 114,427,407,920円
合　計	48,987件 171,076,856,607円

一般財団法人
新潟県労働者信用基金協会
〒951-8113　新潟市中央区寄居町332番地18

花角県知事要請行動

「2021年度（令和3年度）労働者福祉に関する要請書」に基づく申し入れ

11月6日（金）県労福協は、花角知事を訪問し労働者福祉に関する要請書を提出しました。

要請内容は、①東日本大震災の被災者・避難者の支援について、②格差・貧困社会の是正、セーフティーネットの強化について、③「奨学金問題」の改善について、④フードバンク活動の促進について、⑤労働者協同組合法案の取り扱いについて、の5項目でした。

重点的には、①生活困窮者支援事業では、制度の充実と相談員の処遇改善に向けた取り組みの強化、②奨学金問題では、最重要課題としてコロナ禍による経済的困窮により就学困難者が増大している中で相談体制など充実強化、③フードバンク活動では、フードドライブの定期的な県庁での開催、企業・団体からの食料支援がスムーズに行われる制度改正と地方自治体としての取り組み、④労働者協同組合法では、法案成立後の具体的な県としての取り組みについての要請を行いました。

花角知事からは、「労福協には、フードバンク活動や労働者福祉に関わる取り組みなどに尽力頂き感謝申し上げる。来年度予算を検討するにあたって、要望内容をしっかり拝見させていただき、趣旨を踏まえて対応していきたい。」との前向きな回答がありました。

―出席者―

新潟県：花角知事、橋本産業労働部長、高橋しごと定住促進課長、石附大学・私学振興課長、茂野廃棄物対策課長、中野福祉保健課長、渡辺食品・流通課長、長谷川高等学校教育課長

労福協：牧野理事長、齋藤副理事長、小野塚副理事長、齋藤弘明ワーカーズコープ本部長、間専務理事

奨学金に関する電話相談

「変えよう！奨学金」

11月6日（金）奨学金に関する電話相談を開催しました。

今年は、コロナ禍の影響により駅前におけるチラシ配布は中止し、代替対応としてFMラジオ放送で、10月28日から11月5日まで合計27本のスポットCM（20秒）放送を実施しました。また、3日の新潟日報に開催案内記事が掲載され、多くの相談が寄せられることを目的に開催しました。

当日は、事務局3名とろうきん財団、こくみん共済coop、連合新潟（日教組）の6名で対応しました。

相談は2件、①「転職による収入減とコロナ禍の影響で返済が厳しい」②「大学卒業後すぐ就職せずやりたい活動を行いたいが返済の猶予は可能か」との相談でした。いずれも日本学生支援機構からの奨学金借入れでしたが同機構の返済相談センターと奨学金問題対策全国会議を案内し相談者からは理解を頂きました。

また、今後は、今年の2月頃を目標に、県内の各奨学金交付を行っている自治体や民間団体および、大学生協など幅広い団体に呼びかけ「奨学金問題ネットワーク」の構築を目指し、奨学金制度の改善に向けた取り組みを進めていきます。

第33回チャリティーゴルフ大会
「NPO法人KHJにいがた秋桜の会」に寄付!!

10月22日（木）県労福協主催による第33回チャリティーゴルフ大会が、「フォレストカントリー倶楽部」で開催されました。

大会は、当初、5月13日（水）の開催予定でしたが、新型コロナウイルス感染症対策の観点から延期し10月開催としました。

当日は、雨の心配は無く、絶好のゴルフ日和でした。

60名が参加し、実力をいかんなく発揮する方、練習不足で大たたきをする方など、それぞれにプレーを楽しみながら交流を深め合うことができました。三密を避けるため、開催ルールを前半9ホールによるハンディ戦とし、終了後の表彰式は行わず、18ホール終了時に個別表彰を行う形態で開催しました。

参加者の厚意により集まったチャリティー金104，500円は、12月4日勤労福祉会館内において、牧野理事長から全額「KHJにいがた秋桜の会」の三膳克弥理事長に寄贈しました。

参加者の皆様のご協力にあらためて感謝申し上げます。

【小嶋　栄吉 氏】

【海藤　正彦 氏】

【チャリティー金の寄贈】

＜大会の上位入賞者＞

東コース優勝者	海藤　正彦	（全自交）
西コース優勝者	小嶋　栄吉	（連合新潟）
東アウトベスグロ	山崎　豊作	（交通労連）
東インベスグロ	城田　克仁	（フォレスト）
西アウトベスグロ	片原　匡郁	（ＪＡＭ）
西インベスグロ	江花　和郎	（労働金庫）

謹賀新年

新春のお慶びを申しあげます
本年も変わらぬご愛顧を賜りますようお願い申し上げます
二〇二一年　元旦

こくみん共済 coop NEWS
「こくみん共済 coop」は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、相互扶助の精神にもとづき、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしに貢献することを目的としています。この趣旨にご賛同いただき、出資金を払い込んで居住地または勤務地の共済生協の組合員となることで各種共済制度をご利用いただけます。
たすけあいの輪をむすぶ
●ここに記載されている内容は、共済商品の概要を説明したものです。ご契約の際は「ご契約のてびき（契約概要・注意喚起情報）」を必ずご確認ください。

全労済から「こくみん共済 coop」へ
こくみん共済〈全労済〉
新潟推進本部（新潟県総合生活協同組合）

健康サポート薬局研修
健康サポートのための多職種連携研修会

10月25日（日）朱鷺メッセ・新潟コンベンションセンターにおいて、（公財）新潟県薬剤師会（会長：佐藤宏之）主催の研修会が（研修生40名）開催されました。

研修会のねらいは、薬剤師・薬局が、医薬品等に関する相談や健康相談への対応を行える国民の病気の予防や健康サポートに貢献できることを目的としたものでした。また、健康に関する幅広い相談に対応できるためには、地域の社会資源と連携して相談解決に向けた対案や支援を行える力を身に着けることをめざす研修会でした。

研修会の中で、多職種等の取り組みについてのテーマがあり、たまたま、新潟県労福協の取り組み、とりわけ、ライフサポート事業やパーソナルサポート事業について実態の報告をお願いしたいとの要請があり、間専務理事が、県労福協のパンフ等を持参して事業の説明を行いました。

特に、新潟ＮＰＯ協会が発行している「死ぬな！（第８版）」は、薬剤師協会も協賛団体であり、パンフを見た方が多く連携したイメージ作りも容易に行うことが出来ました。新潟県は自死（自殺）の方が多い県です（２０１９年度全国第６位）。児童生徒に対するいじめ問題が県内において急増している実態（２０１９年度自死４名）があり、自死の減少に向けた具体的取り組みが長年の課題となっています。

一方、今回のコロナ禍によって社会的弱者層に生活困窮の実態が顕在化しつつあります。自助・共助・公助などと「自己責任論」を押し付ける冷酷な社会ではなく、誰もが「助けて」といえる社会の構築が急務であると、労福協の「福祉はひとつ」の思いを込めての講演となりました。

【参加者の質問に答える間専務】

生活協同組合 コープクルコグループ コープ・トラベルセンター

コープ・トラベルセンターは、国内旅行、海外旅行、宿泊プランをはじめ
各種イベント、大会、会議セミナー会場の手配を承っております。

お申し込み・お問い合わせ

新潟営業所 〒950-0965 新潟市中央区新光町 6-6 2F　025-285-8927
長岡営業所 〒940-2116 長岡市南七日町5-7　0258-86-7537
新潟県知事登録旅行業第2-321号　全国旅行業協会正会員　総合旅行業務取扱管理者 高橋 孝
http://www.cooptravel.jp　コープ・トラベルセンター　検索

連合新潟第30回年次大会

私たちが未来を変える～安心社会に向けて～
新たな運動の構築と更なる地域運動の展開

10月28日（水）連合新潟は第30回年次大会を、新潟東映ホテルにおいて開催し、代議員・役員など１１０名が出席しました。

牧野会長より「全ての生活者の雇用を守るための高率的な取り組みを進めていく。『地域活動を広げよう』では、連合運動における地域組織の重要性がいっそう高まる中で『地域に根差した顔の見える運動』をすすめるために、連合新潟・各地域協議会は、協力団体である新潟県労福協・労働金庫・こくみん共済ｃｏｏｐ新潟推進本部と連携し、地域において、暮らしや生活にかかわる支え合いの運動を展開していくことが重要である。特に、検討されている地区労福協との関わりについて具体的な協議が始まったばかりであるが、しっかりとした形となるよう進めなければならない。」との挨拶がありました。

活動計画では、新型コロナウイルス禍で経済状況が悪化する中であっても、全ての労働者のディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）を目指すことや、賃金や労働条件向上などに向けて活動を進めることを決定しました。

地域づくりセミナーin長岡

自立した持続可能な地域社会創造を目指して

11月25日（水）自立した持続可能な地域社会創造を目指して、新潟ろうきん福祉財団が主催する「地域づくりセミナー」が長岡市で47名の参加で開催されました。

主催団体の中川専務理事から「当財団は『自立した持続可能な地域社会創造事業』として、様々な地域づくりを行っている団体に資金を助成しているが、単に資金を助成するだけでなく、その後の団体支援やサポートも行っている。このセミナーは、助成団体から集まってもらい、更に研修や学びを得る場として設定した。ぜひ、このセミナーで学んで一つでも多くの物を持ち帰ってもらいたい。」との挨拶がありました。

今回は、コロナ禍における開催となり、開催内容を従来の１泊２日から、日帰りとし、感染防止対策を行った中での開催となりました。

セミナーは第１部「研修会」では、矢部佳宏氏（一般社団法人ＢＯＯＴ代表理事）からの講演で、出身は福島県西会津町であり長岡造形大学大学院で、持続可能な集落風景について研究した

新潟ろうきん夢咲Clubとは？

〈ろうきん〉に加入していない事業所にお勤めの方が、
〈ろうきん〉を利用する際にご加入いただくメンバーズクラブです。

ご入会

新潟ろうきんの県内26店舗で入会手続きができます。加入申込書は新潟ろうきんの全店舗に置えつけてあります。
※入会金や会費は必要ありません。

ご加入いただける方

新潟ろうきんとお取引がある、あるいはお取引を予定されている方で、以下のいずれかの加入条件を満たす15歳以上の方となります。

1）新潟県内に居住または勤務する勤労者の方
2）将来、新潟県内に居住または勤務する予定のある方

ご入会は最寄りのろうきん本支店窓口へ。お問い合わせは新潟ろうきん夢咲Club本部事務局まで。

新潟ろうきん夢咲Club本部事務局

後、カナダ、上海で庭や緑地、都市ランドスケープデザインなどに携わり、東日本大震災を機に自らが19代目となる西会津町奥川の楢山集落にルーツターンした。町と協力し、西会津国際芸術村を運営しながらアートプロジェクトや空き家再生拠点ネットワークによる新たな町の骨格作りに取り組んでいることについて、様々な事例を紹介しての講演がありました。

特に、矢部氏が強調したのは、「つながることの重要性」であり、町としての原点を縄文時代にさかぼりながらなぜそこに人が住んでいるのかを見つめ直す視点でした（再度歴史を学ぶことの重要性）。また、アートは見えていないものを見えるようにする力、デザインは課題として発見し解決する方法であるとの説明がありました。

第２部の「２０１９年度地域社会創造助成事業助成団体」成果報告では、①だんだんど～も只見線沿線元気会議（魚沼市）、②結トピア貝塚（新発田市）、③特定非営利活動法人福井旧庄屋佐藤家保存会（新潟市西蒲区）、④元気すもんプロジェクトチーム（魚沼市）から、それぞれ助成金を活用した成果の報告がありました。

セミナー終了後も、あちこちで輪ができ、名刺交換や情報交換が行われるなど、中身の濃いセミナーとなりました。

(一財)新潟ろうきん福祉財団

予告

2021年度 NPO等助成事業

NPO等市民活動団体の活動を支援することで、これらの団体の発展と県民の福祉向上を図る目的として行っています。

募集時期：2021年３月ごろ予定
助成金額：1団体上限100万円、助成率80％
助成種類：NPOや市民活動団体の事業拡大・発展
団体の合理化、NPO支援など

※詳しくは、「新潟ろうきん福祉財団」ホームページにてご確認下さい。

一般財団法人　新潟ろうきん福祉財団
https://www.zaidan-hukushi.or.jp

東部ブロック
第228回幹事会報告

10月8日（木）東部ブロック労福協第228回幹事会が茨城県水戸市・水戸京成ホテルで19名が参加し開催されました。

本来であれば、2020年度代表者会議も開催する予定ではありましたが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から開催見送りとしました。

幹事会では、東部ブロック定期総会の議案審議を中心に行いました。

意見交換では、新潟県労福協として、地区ライフサポート事業再編についての論議状況の説明、「新潟県フードバンク連絡協議会」の活動について現状報告などを説明しました。

第55回定期総会
～連帯・協同で安心・共生の福祉社会を作ろう！～

12月2日（水）新潟市「新潟東映ホテル」において東部ブロック第55回定期総会が開催されました。

総会議長に、齋藤（新潟県労福協）副理事長が就任し総会がスタートし、東部ブロック小林会長、開催県牧野理事長の歓迎挨拶、中央労福協南部事務局長、連合関東ブロック杉浦代表の挨拶を受けました。

その後、新潟県知事のメッセージを披露し、2020年度の活動報告並びに会計報告・会計監査報告、2021年度の活動方針・予算案が提案・承認されました。

総会では、活動方針でコロナ禍における活動の困難さを乗り越え、東部ブロック第14期福祉リーダー塾の開催に向けて検討を続けることや、各県労福協の取り組みを共有化し活動の前進に結びつけることを確認しました。

また、中央労福協2030年ビジョンを踏まえ「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくる」労福協理念の実現に向け、各県労福協は、労働団体、福祉事業団体との連携強化をはかり、積極的に展開することを確認しました。

役員改選では、会長の小林直哉氏（埼玉県労福協）に代わり、新たに岡田啓氏（東京労福協）を選出しました。

なお、総会終了後に「労働者協同組合法ができる」と題して、江花和郎氏（にいがた協同ネット共同代表）から、労働者協同組合法の目的や成立後の社会的影響について詳細な講演がありました。

特に、労働組合に問われるもの、労働金庫に問われるもの、労福協運動の現代的な役割についても鋭い視点での指摘と分析があり、意義ある講演会となりました。

連合　全国一斉集中労働相談ホットライン

雇用SOS ちょっと待った！その解雇・雇止め

雇止め！

次回更新をもって契約満了で雇止めと言われた！有期契約を反復更新して5年以上働いてきたのに…今から無期転換って申し込める？

パワハラ・退職強要

上司から「首にしてもいい、辞めたほうがいい」と何度も言われ、ストレスで会社に行くのが辛い。精神的に限界で、上司に解雇するように伝えたら、「会社都合退職はできないから、自己都合退職しろ」と言われた。

2021年2月24日(水)・25日(木)　10:00～19:00

フリーダイヤル　いこうよ　れんごうに

0120-154-052

相談無料　秘密厳守　携帯・スマホOK

あなただけに贈るご利用特典

新規ご加入キャンペーン　KuruCo（クルコ）

特典1　クルコ人気商品 3 品プレゼント！　初回注文から3週間、毎週1品ずつプレゼント！

虹っ子牛乳（1000mℓ）　冷蔵　㊊配達日含め4日間　〔アレルギー：乳〕

生協たまご（赤玉）（10個パック・MS-LL込）　冷蔵　㊐16日　〔アレルギー：卵〕

国産豚挽肉パラパラミンチ（300g）　冷凍

特典2　人気商品 8 品が加入後 3 週間は、50 %OFF になります。

特典3　個人宅配のご利用手数料　通常２００円が加入後 8 週間 0 円でご利用いただけます。（消費税別）

特典4　加入後 8 週間以内にｅフレンズに加入登録すると、100 ポイントプレゼント！

※コープデリｅフレンズは、コープデリ宅配サービスのインターネット注文サイトです。

CO-OP コープデリ　コープクルコ　食卓を笑顔に、地域を豊かに。

お申込み・お問合せ・資料請求・こちら

電話から　クルココールセンター　9:00～19:00（月～金曜日）

0120-222-559

スマホから

国際交流

2020韓日親善交流会『講演会』・『懇親会』

10月14日（水）在日本大韓民国民団新潟県地方本部主催の「講演会および韓日親善交流会」が、新潟東映ホテルにおいて、在日韓国人の皆さん、日韓親善協会加盟の日本人の皆さん、１０１名の参加で開催されました。

講演では、「新潟発・韓日外交」と題して、駐新潟大韓民国総領事館　鄭美愛総領事から、「総領事としての任期が今年の11月上旬となる。着任から３年間の取り組みを報告する。講演は24回行い、管轄区域の、新潟県・長野県・石川県・富山県の各団体の要請により精力的に行ってきた。常に講演で、日本政府に対しては、客観的な認識を持つこと、日本人は過去（戦前を学ぶこと）、韓国人は未来を語ること（戦後を学ぶ）が重要であると語ってきた。１９９８年金大中大統領が日本の国会演説で「韓国と日本の関係は、実に長くかつ深い関係で、われわれ両国は１５００年以上に及ぶ交流の歴史がある。（中略）不幸な関係は、約４００年前の日本が韓国を侵略した7年間と、今世紀初めの植民地支配35年間である。わずか50年（現在は75年）にも満たない不幸な歴史のために、１５００年にわたる交流と協力の歴史全体を無意味なことにするということは、実に愚かなことである」と述べています。文在寅大統領の「韓半島平和プロセス」における日本の場所は新潟県である。厳しい時代であっても、民間の交流は重要であり、両国の友好構築に向けて取り組んできた3年間であった、と熱く講演を行って頂きました。

懇親会では、片桐日韓親善協会会長が、鄭総領事に対するねぎらいの言葉と、日韓親善協会の活動の重要性を強調しての挨拶がありました。

コロナ禍での懇親会となり、マスクが気になる状況もありましたが、楽しい交流が行われました。

第4回日韓交流フォーラム
～韓日交流・協力の今日と明日～

10月26日（月）駐新潟韓国総領事館・新潟日報社主催による標記のフォーラムが、新潟日報メディアシップにおいて行われ、オンライン参加と会場参加と合せて１２０名が参加しました。

駐新潟総領事の鄭美愛総領事は「韓国と日本は懸案を抱えコロナ禍で多くの制約もあるが、困難な時こそ、地方交流を継続しなければならない」とあいさつしました。研究者の４名の方が「韓日交流・協力の今日と明日」をテーマとして報告・パネルディスカッションを行いました。

南教授は「両国の不信感・対立解消に向け、どう行動するか。協同のロードマップを作ることが重要だ」と問題提起しました。林准教授は、長年続けてきた韓国との学生交流が中断し地方にも影響が出ていると指摘し、「多様な韓国文化を実際に体験する機会を失ってはいけない。韓国に行ったことのない政治家は後ろに立っていてほしい」と痛烈に「嫌韓」発言等を行っている者を批判しました。

歴史認識の曖昧さを解消し、未来志向の関係を早急に構築することが今こそ求められていると、改めて認識したフォーラムでした。

【座長およびパネリスト】
①座長：国民大学日本学科教授
　李　元徳（イ・ウォンドク）氏
②ソウル大学日本研究所教授
　南　基正（ナム・キジョン）氏
③恵泉女子学園人間社会学部
　国際社会学科教授
　李　泳采（イ・ヨンチェ）氏
④新潟国際情報大学国際学部
　国際文化学科教授　吉澤　文寿氏
⑤富山大学人文学部人文学科准教授
　林　夏生氏

地区労福協からのたより

小千谷地区

10月24日（土）に小千谷市楽集館にて「ライフプランセミナー」を開催しました。

講師として連合新潟副事務局長の桑原典子氏をお招きし、「同一労働同一賃金の法改正について」をテーマとして約1時間ご講義いただきました。

働き方改革の基本的な考え方を確認し、雇用形態に関わらない公正な待遇の確保に焦点をあて、具体的な事例を紹介しながら、わかりやすく解説いただきました。そして、労働組合が果たすべき役割とやらなくてはならない取り組みについてもステップ毎に確認することができました。

今回は組合役員も多く参加しており、今までなんとなく理解しているつもりであったものが、具体的事例を確認し自分の職場に置き換えることでより理解が深まり、家族の労働条件も含め確認していく良い機会となりました。

糸魚川地区

糸魚川地区労福協では、第８回総会を、７月17日に招集しての開催を進めていましたが、直前に糸魚川市内で新型コロナウイルス感染者が確認されたため、急遽持ち回りの書面議での開催に変更し全議案が可決承認されました。

また、コロナ禍により毎年開催している親善ゴルフ大会、２０２１年新春交歓会についても中止という苦渋の決断となりました。特に新春交歓会については、１年前から開催日と会場を決めての企画だっただけに大変残念でした（雰囲気だけでもお伝えしたく、昨年の新春交歓会の写真を掲載しました）。

しかし、毎年開催しているライフプランセミナーについては、昨年の２倍の広さの会場を借りる等、感染防止対策を十分に行い、２０２１年２月に30名規模で開催する予定です。毎年退職を間近に控えている方や早い時期から退職後の設計図を描きたい方には大変好評をいただいており、ぜひ実現させたいです。

2019年度調査・研究事業報告　連載／第4回

揺れ動いた「平成時代」からの教訓を探る
―「労働時間」はどのように変わり、なにを学ぶべきか―

公益社団法人 新潟県自治研究センター

労働者にとっての「平成」約30年間を研究対象とし、総括論文と「雇用」「労働時間」「賃金」の3つのテーマ別論文で構成された今次報告書のうち、今回は「労働時間」に焦点を当てた、「労働時間の変遷と課題を探る――政策と制度改正から見る日本の時短――」（桝口敏行：新潟県自治研究センター常務理事・研究主幹）を取り上げる。

同論文では、労働時間について「時短政策」・「休日と休暇」・「年次有給休暇」をキーワードにして、日本型雇用や労働時間の変遷、またドイツやアメリカなどの働き方についても触れながら、世界との比較を通した日本の労働時間や休日等の特徴や課題に言及している。多角的に論じられており、報告書中でもっともボリュームのある論稿となっているが、それぞれのテーマが、データも示しながら簡潔にまとめられていることから、学習会の資料としても活用できるものとなっている。

今回は、そのなかで「時短政策」の部分を一部紹介する。

【世界との比較からわかるもの】

ＯＥＣＤのデータ（２０１８年）によれば、労働時間が日本より「長くなった」のはアメリカである。

考察対象期間の「平成」、約30年間でいえば、その初めの段階でアメリカは欧州諸国と同程度だったが、欧州諸国が時短に取り組むなかでその差が広がっていたとのことである。

また、成果主義重視の雇用や所得税の低さ、不安定な年金などが長時間労働の抑止を緩やかにしているとの指摘は、日本においても同様に重く受け止めるべき事実であろう。

その一方で、桝口氏が参考にすべきものとして重視するのは、長時間労働の国よりも、時短を着実に実現している国の事例である。論文では、ドイツ労働総同盟の取り組みで、どのように時短が勝ち取られてきたのかという経過とともに、労働時間に関して現在のドイツ国内法が示す内容（法定労働時間や時間外労働、年次有給休暇等々）も簡潔に示されている。そして、そのような法律とともに大きな役割を果たしているのが、産業別労使で締結される労働協約であるという。

労働組合のねばり強いたたかいによる成果としての、時短政策や法制度の実現、そして労働条件の向上という積極面に学ぶべきところは多い。

【日本の労働時間をどう捉えるか】

日本においても、時短は労働基準法等の改正により進められてきた。

それは、本論文でもまとめられている、１９８５年の経済審議会「１９８０年代経済社会の展望と指針」の閣議決定から今日までの、時短に関わる法制度や方針をみても明らかである。

しかし、ＯＥＣＤのデータ（２０１８年）が示すような、１６８０労働時間（／年）・38か国中22位という結果が、実態から乖離しているように感じるのはなぜか。それは、報告書の他の論稿でも「平成30年」の顕著な例として繰り返し言われているような、雇用形態の変化――さまざまな非正規化――が背景にあるからである。年次有給休暇取得率の低さともあいまって、「実態としては労働２０００時間（／年）を超えると推察される」と、桝口氏は述べている。また、ここに、法律の制定に頼る「時短改革」の限界があるとの指摘もある。

ドイツの事例と比較したとき明らかになるのは、法制度とともに、その内実を豊かにするための、働く人たち自らの主体的な取り組みの重要性である。

もちろん、これは法定労働時間だけではなく、時間外や年次有給休暇をはじめとした労働条件全般に関わる問題である。そして、同時に、こうした指摘は、労働組合の役割の大きさと、期待のあらわれであるとも筆者は考えている。

【「働く」とは、の問いかけとともに】

この論文は「人は、なぜ働くのだろう。労働とはなにか」との問いかけから始まっている。

「『働く』とは、お金を稼ぐ手段であると同時に、働くことで得られる人生の充実感を味わうための行為」だとすれば、労働そのものの内容と、労働以外の時間をどのようにつくるのかが問われてくる。本論文を含めた、報告書がそのための一助になれば幸である。

２０２０年度の研究調査も最終段階になっているが、働く人々の運動と希望に資する調査研究、提言ともなるよう、新年にあたり、あらためて決意し、引き続きのご指導・ご協力をお願い申し上げ、今年度の連載を終えたい。

（文責・新潟県自治研究センター　齋藤　喜和）

ろうきん
マイカーローン

ろうきんマイカーローンで
生活応援

ネット割

ろうきんマスコットキャラクター
「ロッキー」と
新潟ろうきんTVCMキャラクター
「RYUTIst」

インターネットから
お申込みするだけで！

金利引下げ！

まずは！
ネットカンタン
仮申込から

新潟ろうきん　検索

ろうきん
マイカーローン
キャンペーン
2021 1月4日（月）▶ 2021 4月30日（金）

「ネットカンタン仮申込」経由で申込、期間中に
50万円以上お借入れいただいた方の中から抽選で、

合計80名様に 選べる
デジタルギフトが当たる！

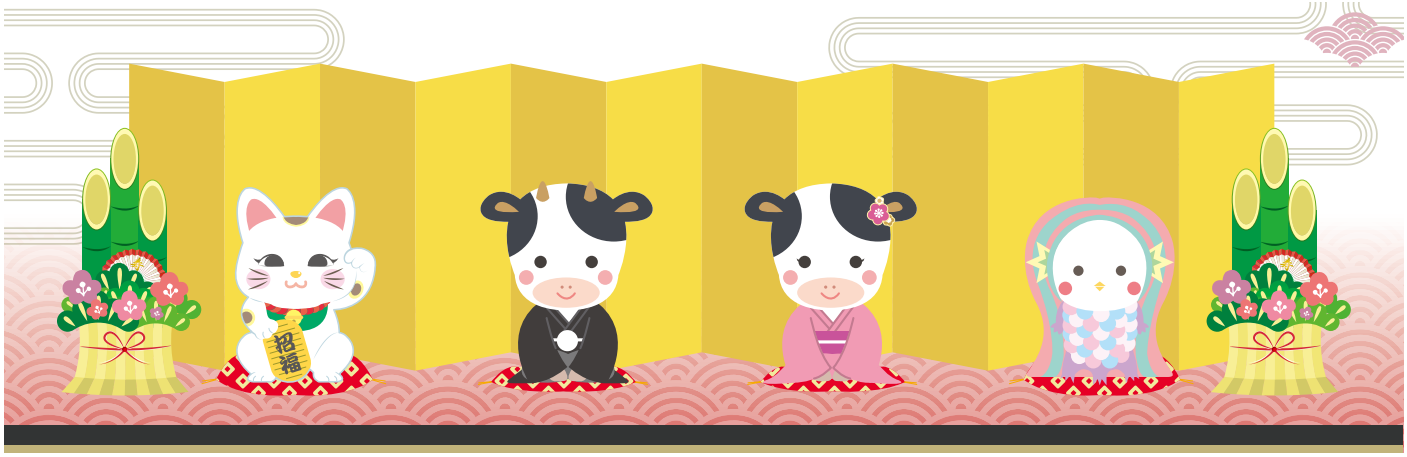
●商品のお届け先は、日本国内のみとさせて頂きます。●2021年5月に抽選を行い、賞品の発送をもって当選発表とさせていただきます。
※詳しくは店頭へお問い合わせください。

新潟ろうきん
0120-191-880（受付時間 9:00～17:00）
●休業日＝月～金の祝日（振替休日含む）、5月3日～5日、12月31日～1月3日
※1月4日、5日が土曜日または日曜日の場合は休業日となります。

編集後記

❖２０２０年の漢字は「密」。まさに、新型コロナウイルス感染症が猛威を振るった年であった（現在進行形・終息のめど無し）。密閉・密集・密接が感染症の拡大に繋がる諸悪の根源として大々的に「三密」の回避が叫ばれた❖県労福協の各種事業は直撃弾を受けた。そもそも、労福協に限らず、労働運動や事業団体（労金・こくみん共済）運動など、「三密」の中で成立する活動を柱としている。「新しい生活様式」での活動の在り方、会議等の開催方法（ｗｅｂ等）を検討することが求められた❖新型コロナウイルス感染症は、多くの人を蝕んだ。自殺者の増加・生活困窮者の増加・感染者を一方的に冒涜する行為、人間の心の弱さを増殖させ、寛容さを喪失させ、けばけばしい限りの時代を作り上げる道具となっている❖時代背景が悪いのか、今こそ、労福協の理念である「すべての働く人の幸せと豊かさをめざして、連帯・協同で安心・共生の福祉社会をつくります」の実践がもとめられている❖新潟県フードバンク連絡協議会が取り組んだ、「あしながサンタＸ，ｍａｓケーキ１０００個プレゼント」に対して、県労福協はケーキ１００個の支援を行った。一人でも多くのひとり親家庭の子どもや家族が笑顔になれたなら、素直に喜びたい❖殺伐とした２０２０年であったが、一筋の灯りは、12月４日に成立した「労働者協同組合法」である。まさに、協同労働運動の新時代を切り拓く道具として、全国津々浦々で息吹を吹き込みたい❖一人として無駄な生命はこの世に存在しない。その生命が輝く営みが「働く」ということ。働くことに誇りあれ。働くことに未来あれ。「協同労働運動」の新たな幕が開く。【吉村伸宏理事長・談話】

（新光町のカンペイ）

今後の日程

1月	13日（水）第10回長岡市PS支援調整会議（就労･障がい関連）(長岡市：トモシア) 17日（日）ろうきん福祉財団「にいがた旬塾2020」　(Web) 18日（月）中央労福協第４回学習会　(Web) 「労働者協同組合法の成立を受けて」 (講師：山本幸司氏) 26日（火）中央労福協　生活･就労支援連絡会議　(Web) 27日（水）第10回長岡市PS支援調整会議 (生活関連)　(長岡市：トモシア) 28日（木）第10回新潟市PS支援調整会議 (新潟市：勤労福祉会館)
2月	18日（木）第11回長岡市PS支援調整会議(合同) (長岡市：トモシア) 23日（火）「健康サポートのための多職種連携研修会」　(新潟市：薬剤師会館) 25日（木）第11回新潟市PS支援調整会議 (新潟市：勤労福祉会館) 27日（土）長岡地区労福協「ワーク＆ライフセミナー」(長岡市：Hニューオータニ長岡)
3月	3日（水）中央労福協：地方労福協会議(Web) 5日（金）2021年新潟県日ロ親善協会新春セミナー　(新潟東映ホテル) 6日（土）第６回地区労福協代表者会議 (新潟市内) 10日（水）第12回長岡市PS支援調整会議（就労･障がい関連）(長岡市：トモシア) 15日（月）第132回県労福協理事会 (新潟市：勤労福祉会館) 24日（水）東部ブロック第230回理事会(群馬県) 第12回長岡市PS支援調整会議 (生活関連)　(長岡市：トモシア) 25日（木）第12回新潟市PS支援調整会議 (新潟市：勤労福祉会館) 27日（土）三条市勤労青少年ホーム（ソレイユ三条）事業打合せ会議　(三条市)